

アサガオの育て方

1. 土作り

プランター 1 基あたりに培養土を 1 袋 (1 4 畝) 入れます。
プランター 1 基あたり一握り程度の化成肥料を入れます。
残った化成肥料は追肥で使用します。



2. 種まき

種を一晩水につけます。

種をまく時期は5月下旬までにまいてください。(早い時期のほうが生育が良いです。)

プランター 1 基あたり、3 ~ 5 か所にわけて種をまきます。(プランター 1 基当たり種 1 袋となります。それを 3 ~ 5 等分にわけてまいてください。) 1 c m くらいの土をかぶせ、水やりをします。

こまめに水をやりましょう。しかし水をやりすぎると種が腐ることがあります。

発芽の適温は 2 0 ~ 2 5 ぐらいです。7 日くらいで発芽します。
本葉が 2 ~ 3 枚になったら、育ちの良いものを 1 本残して残りは根元からハサミで切りましょう。

ワラやウッドチップをプランターの表面に敷くと乾燥防止になります。

3. ネット張り

本葉が 7 ~ 8 枚開いたときに、支柱とツルもの用ネットを準備します。ネットの両端には丈夫な支柱や金属パイプを通し、しっかり固定しておきます。

ネットを使用せず、支柱や麻縄のみでグリーンカーテンを作る方法もあります。

プランターの設置については 1 m あたりプランター 1 基を基本として設置します。

4. ツルの誘引

ツルはバランスよく広げましょう。子ズル (わき芽) のほうへ花が付きやすいので、親ツルの芯を摘みましょう。(本葉が 7 ~ 8 枚になったら) 上だけではなく、横へも誘引し、広げましょう。葉がいっぱいになったら、葉を適度に摘んで、風通しを良くします。

2 階以上の高さにさせたいときは、芯を摘まないほうが上に伸びます。

5. 水やり・追肥

水やりはとても大切です。成長段階にあわせてあげましょう。

5～6月

水のやりすぎに注意しましょう。根が地中にしっかりと張る時期は表面が乾いたら、たっぷり水をやります。(プランターの場合、底から水がしみ出るまで)

梅雨時期は根腐れを起こしやすいので控えめに。

7月

7月に入り気温が高くなってきたら、1日1回、朝か夕方に、たっぷりの水をやります。

7～9月の猛暑時

7月～9月の晴天時(猛暑時)には、朝夕の2回水やりが必要となることもあります。水分不足で垂れて元気がないときは、昼間でもたっぷりと水をやってください。

追肥(化成肥料)

追肥は植え付け後1ヶ月くらいから1ヶ月おきに行います。プランター1基あたりに化成肥料を一握り程度、根元を避けてまきます。

水をきちんとやっているのに黄色くなったら、肥料不足です。しかし肥料のやりすぎには注意しましょう。

6. 生長する

ネットいっぱいに広がり、花が咲き始めて見た目もきれいになっていきます。枯れた葉などは病害虫の原因になりますので、葉が黄色になったら摘みましょう。

7. 完了

秋になり、ツルが枯れてきたらネットを撤去しましょう。種はとっておき、1～2ヶ月間乾燥させたら、紙袋などにいれて冷暗所に乾燥保存しましょう。(来年のグリーンカーテン用の種に利用できます。)